

女子大生・20代女性のマッチングアプリ 利用と出会いに関する実態調査

調査概要

項目	内容
調査主体	当サイト運営事務局
調査対象	マッチングアプリを利用したことがある18～20代の女性(女子大生含む)
調査期間	2026年3月1日～2026年3月15日
調査方法	インターネット調査(クラウドソーシングサイトを利用)
調査人数	300名
調査対象者 性別	女性
調査対象者 年齢	18歳～29歳
調査対象者 地域	全国

※本調査は当サイト独自調査です。

アンケート結果詳細

1. 年齢を教えてください

選択肢	回答数	割合(%)
1. 18～19歳	63名	21%
2. 20～22歳	135名	45%
3. 23～24歳	97名	32%
4. 25～29歳	5名	2%

【解説】

回答者の98%が18～24歳に集中し、特に20～22歳の「女子大生」世代が半数近くを占める結果となりました。

25～29歳はわずか5名(2%)にとどまっており、マッチングアプリを通じて「社会人男性が若い女性と出会う」という目的において、実際に利用している女性層の大半が20代前半の学生や新社会人であることが明確に示されています。

男性側は、この世代の価値観を意識したアプローチが不可欠と言えます。

2. 出会いを探すために、最も利用したマッチングアプリは何ですか？

選択肢	回答数	割合(%)
1. Pairs(ペアーズ)	105名	35%

2. with(ウィズ)	84名	28%
3. tapple(タップル)	60名	20%
4. Omiai	30名	10%
5. Dine(D³)	15名	5%
6. その他のアプリ	6名	2%

【解説】

女子大生や20代前半の女性から最も支持を集めたのは、国内最大級の会員数を持つPairs(ペアーズ)でした。

次いで、心理テストで価値観の合う相手を探せるwith(ウィズ)、気軽なおでかけ機能が人気のtapple(タップル)と続きます。

女性側も安心感や使いやすさを重視して王道のアプリを選んでいるため、女子大生と出会うためにはこれら上位3つのアプリを利用することが必須条件となります。

3. マッチングアプリを利用した主な目的は何ですか？(複数選択可)

選択肢	回答数	割合(%)
1. 恋人作り(真剣な恋愛)	135名	45%
2. 気軽な食事やデート相手探し	75名	25%

3. 趣味や価値観の合う友達作り	45名	15%
4. 社会人など年上男性との出会い	30名	10%
5. ひまつぶし・話し相手探し	15名	5%

【解説】

「恋人作り」という真剣な目的が半数近くを占めました。

一方で「気軽な食事やデート」や「社会人など年上男性との出会い」を期待する声も多く、女子大生が出会いに対して柔軟な姿勢を持っていることが伺えます。

男性は重すぎるアピールを避けつつ、まずは食事や趣味の話題から入ることで、警戒心を解きながらスムーズにデートへ誘いやすくなるでしょう。

4. 出会った男性と、その後お付き合いに発展しましたか？

選択肢	回答数	割合(%)
1. 複数回デートしたが交際せず	105名	35%
2. はい、交際に発展した	75名	25%
3. 1回会っただけで関係が終わった	60名	20%
4. 直接会うことはできなかった	36名	12%
5. 友人・知人としての関係が継続中	24名	8%

【解説】

全体の4分の1にあたる女性が「交際に発展した」と回答しており、女子大生と付き合うという目的は十分に実現可能であることが証明されました。

ただし、「複数回デートしたが交際せず」「1回会っただけで終了」の合計が半数を超えています。

直接会えたとしても、そこからのデートでの振る舞いや会話の相性が、交際へ発展するかどうかの大きな分かれ道になります。

5. マッチングした男性と付き合う際に最も重視する点は？

選択肢	回答数	割合(%)
1. 一緒にいて安心感があるか	105名	35%
2. 価値観や金銭感覚が合うか	75名	25%
3. 見た目の清潔感や身だしなみ	54名	18%
4. 大人の余裕やリードする力	36名	12%
5. メッセージや連絡のまめさ	21名	7%
6. 食事代を払うなどの経済力	9名	3%

【解説】

「一緒にいて安心感があるか」が35%で最多となり、次いで「価値観や金銭感覚が合うか」が続きました。

「最も」重視する点として、経済力やリードする力よりも、安心感や内面の相性が上位に選ばれています。マッチングアプリという共通の知人がいない出会いだからこそ、付き合う上では警戒心を解いて自然体でいられる相手かどうかことが重要視されます。

男性は、背伸びしすぎず誠実で安心感のある関係構築を心がけることが大切です。

6. 男性のNGなアプローチや気をつけるべき注意点は？

選択肢	回答数	割合(%)
1. すぐに会おうとする・連絡先を聞く	105名	35%
2. 初対面からタメ口で馴れ馴れしい	75名	25%
3. 自慢話や上から目線の態度をとる	60名	20%
4. プロフ写真が不鮮明・清潔感がない	36名	12%
5. デートの計画や提案を全て丸投げする	24名	8%

【解説】

「すぐに会おうとする・連絡先を聞く」が最多となり、女性側が遊び目的(ヤリモク)を強く警戒していることがわかります。

また、「初対面からタメ口」「自慢話や上から目線」といった、社会人男性が年下女性に対してやりがちな「余裕を履き違えたアプローチ」も上位にランクインしました。

年齢差があるからこそ、最初は敬語で丁寧に接し、相手のペースに合わせて関係を構築する誠実な姿勢が不可欠です。

7. アプリを利用した感想や、料金面(課金等)の満足度を教えてください。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 女性完全無料(0円)でコスパ良く出会えた	141名	47%
2. オプション等で月額~1,000円使い出会えた	60名	20%
3. 月額1,001~2,000円の手頃な有料アプリを利用	45名	15%
4. 月額2,001~3,000円の課金で真剣な人と出会えた	36名	12%
5. 月額3,001円以上の本格的なアプリで確実に出会えた	18名	6%

【解説】

女性は基本無料のアプリが多いため「完全無料でコスパ良く出会えた」という回答が約半数を占めました。

しかし、残りの半数近くの女性は、より良い出会いを求めて「身バレ防止機能」などのオプション課金を利用したり、男女有料の本格的な婚活アプリを併用したりしています。

女性側も真剣な出会いのために一定のコストをかける層が存在しており、料金帯が上がるほど男女ともに真剣度が高まる傾向があります。